

### 第3回 地域環境学習経験交流ワークショップ 実施要綱

1. 主催：東京学芸大学 地域と連携した環境学習推進委員会

#### 2. 趣旨・目的

小金井市・国分寺市・小平市（以下、三市という）の学校教育および生涯学習で実施されている地域環境学習の実践について事例を紹介し合い、情報交換・経験交流を図ることを目的とする。第2回ワークショップ（11月4日開催）においては、地域環境学習促進を意図し、特に学校と地域が連携した環境学習の伸展を目指して、「どのような情報が必要なのか」について議論した結果、地域の基礎的な情報や人材、コーディネーターに関する情報の必要性が示された。第3回ワークショップでは、これまでのワークショップでの成果をふまえ、今後三市の地域環境学習の場で活躍する人材育成やプログラム開発を目指し、学校や地域と連携した環境学習の具体的な取り組みを検討する。

#### 3. 開催日程・会場

平成21年3月10日（火）14時30分～17時00分

東京学芸大学環境教育実践施設多目的室（小金井キャンパス・地図別紙）

#### 4. プログラム（予定）

14:30～ 主催者挨拶／趣旨説明

14:35～ パートナーシップ型地域環境学習活動の事例報告 長手聖美氏（LEAF 事務局次長）

15:25～ 休憩

15:45～ 第3回 地域環境学習経験交流ワークショップ

地域環境学習の場で活躍する人材育成やプログラム開発を目指し、学校と地域が連携した環境学習の具体的な取り組みについて検討する。

17:00 終了

#### 【LEAF（特定非営利活動法人子ども環境活動支援協会）活動概要】

2002年に兵庫県西宮市における市民・事業者・行政が連携、協働し、子どもたちの環境活動を地域や学校などあらゆる場において支援することを目的に設立され、「子どもたちの自主的な環境活動を通じた、持続可能な地域づくり・人づくり」をテーマに以下に示す事業を展開している。

- ① 地域に根ざした持続可能な社会に向けた教育の調査研究事業：小中学校への学習・活動の相談やアドバイス、環境学習システム・プログラムの開発、講師派遣
- ② 自然体験活動を推進するための支援事業：指導者の養成
- ③ 世界の子どもの環境活動交流事業：国際的な活動のネットワーク化
- ④ 事業者と連携した環境教育事業の調査研究事業：多様な主体のパートナーシップ、学習ツールの作成や情報提供

#### 5. 参加者：約25名

- ・ 三市で地域環境学習を実践している、もしくは関心のある小学校教員、中学校教員、教育委員会担当者など学校教育関係者。
- ・ 三市において特に学校で地域環境学習の教育実践を行っている、もしくは関心のある環境等行政関係者、社会教育関係者、市民団体等。
- ・ 本学の教職員および学生。

#### 6. 謝金・交通費

大学外からの参加者には謝金（薄謝）、交通費を準備する。

※当日は印鑑を忘れずにお持ちください。

#### 7. 事務局連絡先

東京学芸大学 現代GP「持続可能な社会づくりのための環境学習活動」（多摩川エコモーション）

〒184-8501 小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学 環境教育実践施設内

環境教育実践施設教授 樋口 利彦 メール：higuchi@u-gakugei.ac.jp 電話：042-329-7667

環境学習推進専門研究員 押田 佳子 メール：k-oshiba@u-gakugei.ac.jp 電話：042-329-7862

当日緊急連絡先：042-329-7861（多摩川エコモーション事務室 村田）